

## 茂木地区の振興課題について

### 1 長崎南商業高校の跡地活用について

- (意見) これまで茂木地区振興協議会から知事あてに協議会が検討した活用案について要望し、県教育委員会と何度か話し合いを行なったが、いわば棚上げの状況になっている。
- (意見) 運動場は長崎南高校の部活動や地域にも開放され、艇庫は茂木地区のペーロン艇庫として長崎市へ無償貸付がなされているが、校舎やグランド・敷地の有効活用または用途変更による活用等については振興協議会の活用案がどのような検討状況になっているのか知らされていない。
- (意見) 従前の地権者は、県立高校の建設という公益目的及び地元の振興にも資するという期待のもとに土地提供に協力しており、廃校のまま放置することには納得いかない。
- (意見) 県内の教育研修や青少年のための宿泊研修の場としての活用や地元自治会等で管理するグランド等としての地元への無償譲渡等積極的な検討を願いたい。

今年度、県立高校の閉校跡地活用策を直接担当する政策監（部長級）が教育庁に配置された。

その一方で、原則として今年度中に活用の具体策の成案がまとまらない場合は県は売却処分の対象地とする方針を立てている。（特に第2校地）

また、これまでの地元の努力にもかかわらず、県として積極的な検討が行なわれていない。

こうしたことから、早急に地元・県・市との協議の場を立ち上げることに努力したい。

※6月議会終了後（7月9日閉会）可及的速やかに地元と協議することを政策監に申し入れました。

### 2 道路の改良について

- (意見) 臨港道路のうち長崎市茂木支所庁舎からSマート茂木店までの区間において曲線半径が小さく、かつ幅員が狭いためいつ事故が起きても不思議でない状況にある 早急な改良を望みたい。
- (意見) 国道324はカーブが多く通行の危険箇所が多い。  
規格の高い道路の整備が進んでも、茂木の人達が日常使う市中心部迄の幹線道路は一向に改善されない。  
茂木の振興のためにも改良計画を立てて欲しい。

ご指摘の区間は、主要地方道野母崎宿線のバイパス的な意味合いをもって港湾の臨港道路として整備されたものだが確かに狭隘で危険性が高い。また、野母崎宿線自体も飯香ノ浦工区・為石工区（旧三和町）での改良事業と併せて今年度から茂木・宮摺間の1380mの改良事業がスタートしたが、その他はいまだ具体的な改良計画がなく、長崎半島東海岸の幹線道路としての位置づけでありながら、大型車の交通不能区間や危険箇所が多数存在する。

いわば道路整備が取り残された路線になっている。

政治的な力が弱かった所為もあるのかもしれない。

ご指摘の臨港道路はもとより、野母崎宿線の他の区間においても局所改良事業等の県単独事業と国庫補助事業の組み合わせによって計画的に連続した改良事業の実施に向けて県への訴えに努力したい。

国道324についても、現行の道路構造令に照らして最小曲線半径がとれていない箇所の改良を優先しながら可能な限り事業化を図るよう県に訴える。

### 3 茂木地区での雇用の場の創出について

（意見） 茂木地区は漁業・農業の他に産業が乏しく雇用の場が少ないため地区全体の活力が全体として低下してきている、なんとか産業の振興が図れないか。

重要な課題だが、検討するにあたっては茂木の資源を活かした方策を練るのが現実的。水産物や農作物に付加価値をつける加工産業の立地が最も現実的ではないかと思料する。

いま、長崎商工会議所や経済同友会等で組織する長崎市都市経営戦略検討会議では長崎市の水産物の練り製品の売り上げ額の倍増戦略を柱のひとつにしている。

このための企業を漁協前の埋立地等に誘致することや、タケノコ・ビワの缶詰や加工の事業所を立地していくことなど他地区と比べて優位な方策を関係機関で検討していろいろな企業にあたっていくことが必要。

そのために農協・漁協・商工会等の協議の場をつくることが必要なので、それぞれに働きかけてみたい。

### 4 環境保全対策について

（意見） EM菌を活用した水質浄化対策他環境保全活動を実践し成果が上がっている。地区内の学校での取組みも行なった。

しかしながら行政からの財政支援が少なくボランティア団体として大変苦労している。

県のモデル事業としての実施や補助金の拡充についてお願いできなか。

EM菌の効能については実証例が多数あることから県の環境政策課等と協議する。アースの会の実践活動内容等について所管課に説明していただく機会もつくりたい。

アースの会の実践活動内容等について所管課に説明していただく機会もつくりたい。

## 5 茂木地区の歴史的資産の活用について

(意見) 茂木には江戸期からこれまでに日本を代表するような文人が多く訪れ、茂木から天草に渡っている。こうした歴史的な資産をもっとアピールする工夫ができないか。

専門家の人たちに相談してみる。

## 6 その他

- ① 荻北町との交流の促進策について
- ② 来年度の市政合併 50 周年に向けた取り組みについて
- ③ J A長崎西彼農協の葬祭場建設構想の促進について

等

おお旨以上ですが、今後、課題解決に向けて関係機関も交えながら皆様方とさらに協議などを行いたいと存じますので、その際は何卒よろしくお願い申し上げます。

長崎県議会議員  
高比良元 拝